

弾道ミサイル飛来時の行動について

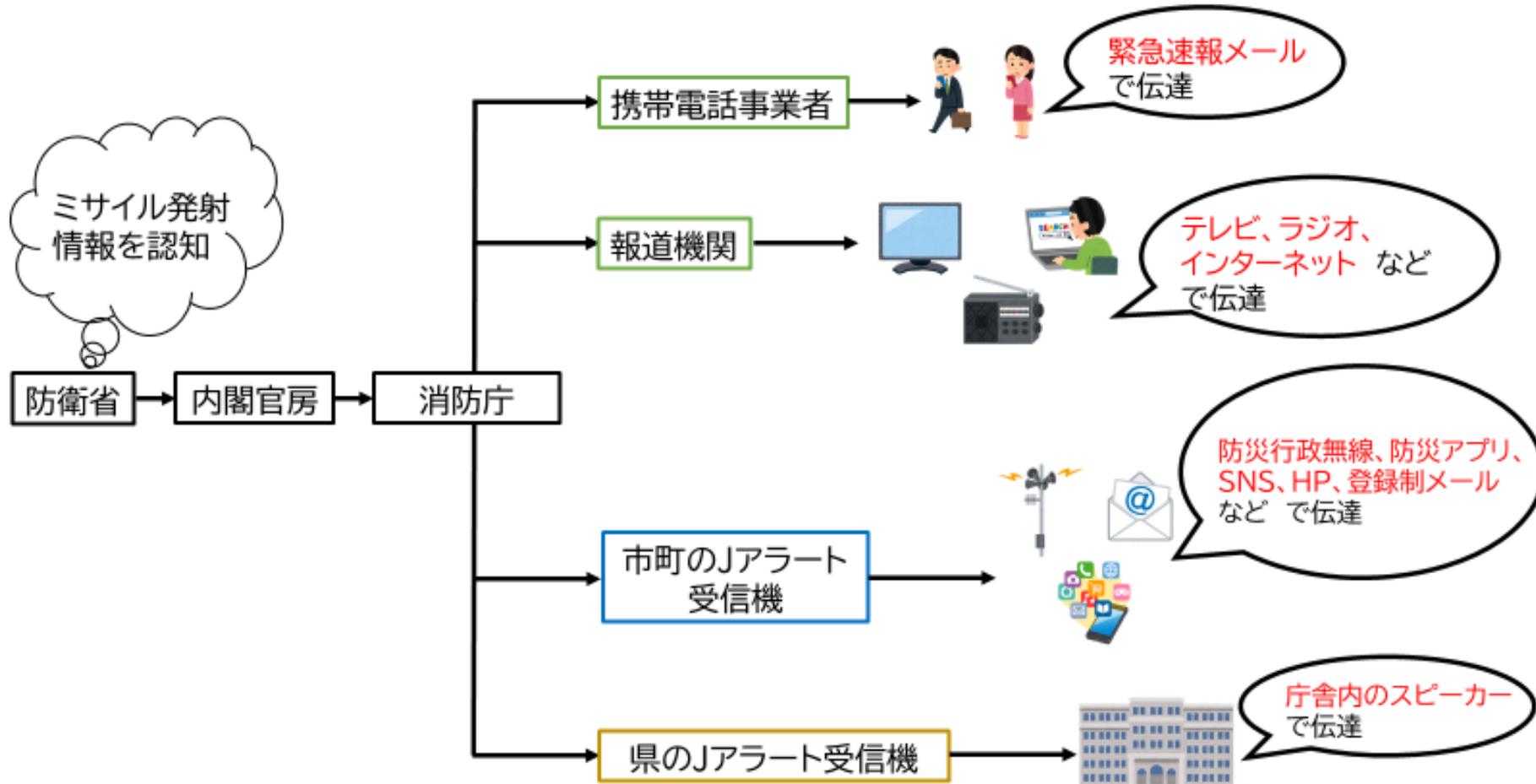
令和6年8月5日

滋賀県知事公室防災危機管理局

危機管理室 危機管理・国民保護係

弾道ミサイルに関する情報の伝達について

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合、Jアラート(全国瞬時警報システム)により、国から該当地域の方々に情報が伝達されます。



緊急速報メール

政府からの発表
2022/10/04 07:29
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難して下さい。」
(総務省消防庁)

OK

【参考】エリアメール・緊急速報メールの受信画面
(令和4年10月4日に実際に配信されたもの)

弾道ミサイル飛来時における避難の必要性について

- 弾道ミサイル落下時には、爆風や建物等の破壊による破片などが発生。
- こうした爆風や破片などによる身体への被害を避けるため、状況に応じた避難行動を取りましょう。
- 弾道ミサイルは極めて短時間で落下することが予想されるため、避難行動の時間が限られることから、状況に応じた避難行動を速やかに取る必要があります。

ミサイルが発射されたら急いで避難!



弾道ミサイル飛来時における避難行動について

【屋外にいる場合(付近に建物あり)】

ミサイル落下時の爆風や破片などによる被害を避けるため、近くの“建物の中”か“地下”に避難する。

建物の中に避難



近くの建物へ
避難



窓から離れ、
身を守る姿勢
をとる。



地下に避難



地下駐車場などに避難



弾道ミサイル飛来時における避難行動について

【屋外にいる場合(付近に建物なし)】

ミサイル落下時の爆風や破片などによる被害を避けるため、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

田園地帯



身を隠す場所を探す。



農業用水やコンクリート製の橋の下などに身を隠す。



電車乗車中



窓から離れた中央に移動し、姿勢を低くして、身を守る姿勢をとる。



その他



ベンチの下に身を隠す。



塀に身を寄せて、頭部を守る



コンクリート製のトンネルに避難する。

弾道ミサイル飛来時における避難行動について

【屋内にいる場合】

爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ避難する。

学校



カーテンを閉めて窓から離れる。



机の下で身を守る姿勢をとる。



自宅など



カーテンを閉めて窓から離れる。



窓のない廊下に避難し、身を守る姿勢をとる。



避難施設について

各都道府県では、住民の避難・救援を的確かつ迅速に実施するため、国民保護法に基づき、避難施設を指定しています。また、指定された避難施設のうち、弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接の被害を軽減するための一時的な避難施設として、“緊急一時避難施設”があります。

全国の指定された避難施設の情報は国民保護ポータルサイトで確認できます。

内閣官房 国民保護ポータルサイト
Cabinet Secretariat Civil Protection Portal Site

最寄り駅 ▼
最寄り駅を入力 🔍

弾道ミサイル落下時は、直ちに堅牢な建物の中、又は地下に避難してください。

避難施設の絞り込み

- 緊急一時避難施設（主に弾道ミサイル落下時の避難施設）
- 堅牢な施設（コンクリート造）
- 地下施設
- その他の避難施設（木造・屋外施設など）
- 上記選択施設のうち、24時間対応のもの
- 絞り込みなし

該当件数：257件

草津市立山田小学校
滋賀県草津市北山田町350番地
コンクリート造

草津市立総合体育館
滋賀県草津市下笠町161番地

緊急一時避難施設しか避難できないわけではない！
近くの建物の中または地下へ避難してください。

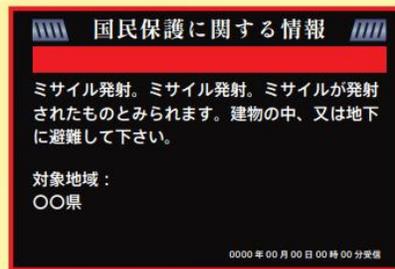
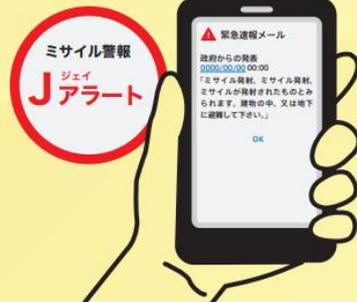


国民保護ポータルサイト 🔍

<https://www.areasmarker.com/kokuminhogo/map>

まとめ

弾道ミサイル 飛来時の行動について



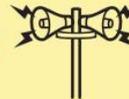
弾道ミサイルは、発射から
わずか10分もしないうちに
到達する可能性があります。



弾道ミサイルが着弾した場合、激しい
爆風や破片などにより、身体へ大きな
被害を受ける可能性があります。



弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、
Jアラートを通じて屋外スピーカーや携帯電話の緊急
速報メール等によりメッセージを流します。



メッセージが流れたら直ちに以下の行動をとってください

弾道ミサイルが上空を通過した場合など避難行動をとる必要がなくなった場合は、避難の呼びかけを解除します。



屋外

にいる場合

爆風や破片などを避ける

近くの建物の中

または 地下へ

緊急一時避難施設*をはじめ、
コンクリート造り等の頑丈な建物
や地下街、地下駅舎等の地下施設
へ避難することが望ましいですが、
それ以外でも構いません。



もしも！ 近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す

または 地面に伏せ

頭部を守る



屋内

にいる場合

爆風で割れた
窓ガラスなどを避ける

その場で安全を確保し

窓から離れる

または

窓がない部屋へ



*緊急一時避難施設：弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接の被害を軽減するための一時的な避難に活用する観点から都道府県知事等が指定する施設。

詳しくは、内閣官房国民保護ポータルサイトへ

国民保護

検索



参考文献

- 内閣官房国民保護ポータルサイト『弾道ミサイル落下時に取っていただきたい行動の例(避難訓練の場面から)』
https://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/action_case.html (2024/08/01)
- 内閣官房国民保護ポータルサイト『北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について』
<https://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/jalert.html> (2024/08/01)
- 内閣官房国民保護ポータルサイト『避難施設』
<https://www.areamarker.com/kokuminhogo/map> (2024/08/01)